

「お互いさま」の

すすめ

～地域安心生活サポート事業～



**お互いに、支え・支えられる
みんなが暮らしやすい地域をみんなで作ろう**

高齢化・少子化・核家族化が進む中、今あらためて、地域でのつながりと支援体制づくりが必要となっています。

逗子市社会福祉協議会では、【誰もが安心して暮らせる地域づくり】を目指し、「地域安心生活サポート事業」を通じて、日ごろの挨拶や声かけの輪を拡げ、お互いにちょっと困った時に手を貸し合える、声が出し合える、そんな温かい地域づくりを進めていきます。

地域安心生活サポート事業（お互いさまサポーター）とは

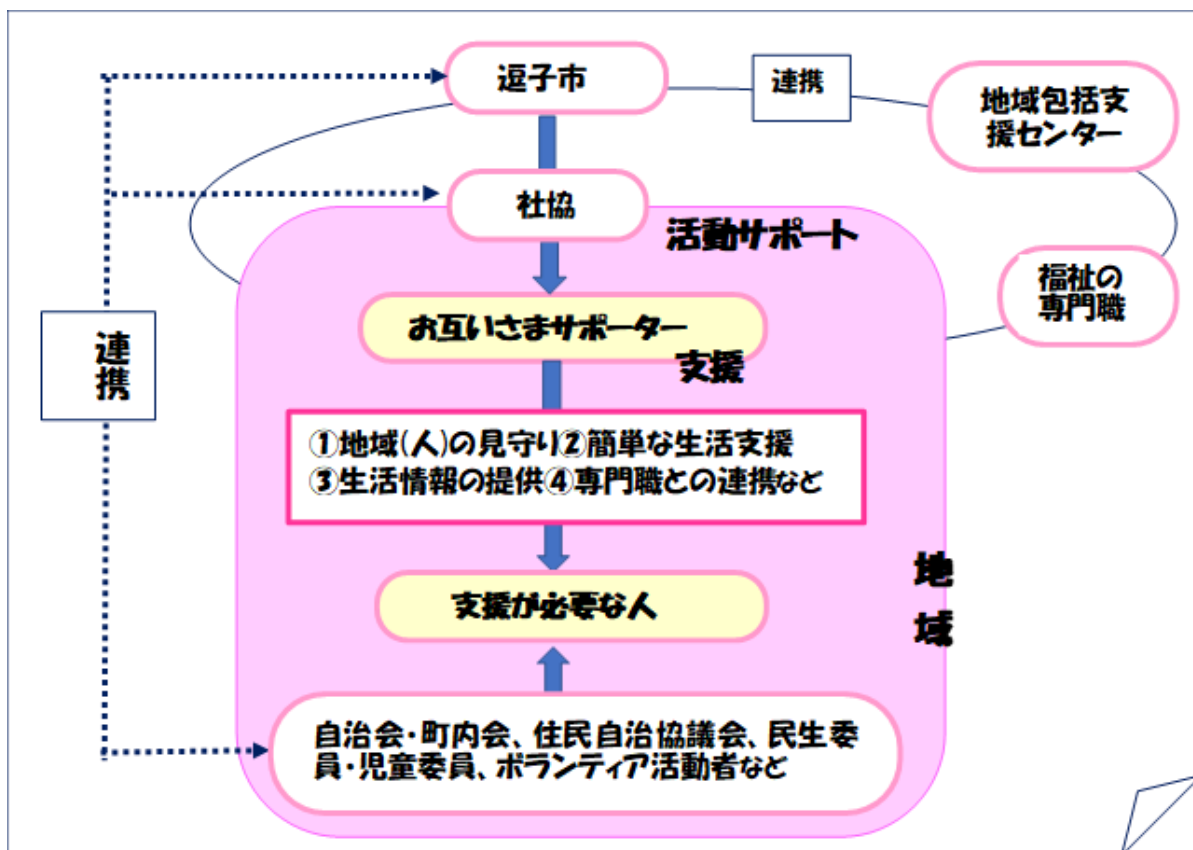
平成 21 年度から 26 年度までは国や逗子市から受託事業として、平成 27 年度からは、逗子市社会福祉協議会の事業として実施しています。

事業開始から 10 年以上が経過した現在、「お互いさま活動」が展開されてきた地域では、見守り等が必要な方に対して、お互いさまサポーターが、日ごろの生活の様子を気にかけてたり、生活の困りごと相談やニーズ対応を行ったりする中で、地域の孤立を防ぎ、また状況に応じて専門機関と連携して、課題解決に取り組んできました。

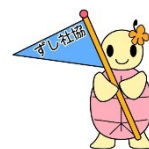
また、この事業は、逗子市と逗子市社会福祉協議会で一体的に策定した「逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画」の具体的事業として実施しています。

「お互いさま活動」～地域安心生活サポート事業～

地域に関わる各団体や専門職と連携・協力して、誰もが安心して暮らせる地域をつくります



小地域（自治会・ご近所）を活動単位として、地域のボランティア（「お互いさまサポーター」）による、ちょっとしたお手伝いや見守り活動を行い、支え合う仕組みづくりをすすめていきます。



「お互いさまサポーター」とは？

【誰もが安心して暮らせる地域づくり】を目指し、地域での支え合い・助け合いの仕組みづくりを行う「地域安心生活サポート事業」に賛同し、地域の中で活動するボランティアです。

社会福祉協議会に「お互いさまサポーター」として登録し、できる時に・できる人が・できることを活動します。

*各地区の状況により、チーム編成を行い、お互いさまサポーターの皆さんが主体的に運営をしています。自治会・町内会との連携、有志団体としての活動等、各地区により活動内容は異なります。

サポーター活動では

- 社協の事業保険が適応します。
- 社協を通じて、市や地域包括支援センター、その他様々な福祉機関等と連携しています。
- 返子市内のお互いさま活動等、地域の情報を共有します。

お互いさまサポーターの活動

①見守り活動

地域の中で必要な方（*）に対して、日常的な声かけや、状況に応じて訪問等の見守りを行います。

（*）一人暮らしの高齢者や高齢世帯・障がいのある方・子育て中の世帯・日中独居の世帯・その他支援が必要と思われる方等

②簡単な生活支援（ニーズ対応）

電球の付け替え、物の移動など日常生活の簡単なお手伝いを行います。

③生活情報の提供 / 専門職との連携

サポーターは福祉のアンテナ役。お困りの方がいた時に、情報提供を行ったり、専門機関につなぐ役割を行います。

④その他

地域交流（サロン等）の場づくり等。

【お互いさまサポーターの活動】事例紹介

その1【見守り活動】



『お互いさまグリーンヒル』
(サポーター28名)

サポーターは、毎月、高齢者や障がい者等の見守り対象者に対して、近況を伺ったり、生活情報をお渡ししたりする見守り活動を行っています。コロナ禍では、インターフォン越しや電話で話をする時もありましたが、やはり対面だと笑顔が見られるので、お互い安心します。地域の皆さんからも喜ばれている活動です。

サポーターと見守り対象者を、自治会のブロックごとに担当制にし、漏れのない仕組みをつくっています。

その2【ニーズ対応】



『お互いさま山の根』
(サポーター30名)

ご近所同士の助け合いとして、ちょっとしたお困りごとへのお手伝い(ニーズ対応)を行っています。日頃の買い物やゴミ捨て等は、自分の用事のついでにできるサポーターが、無理のない範囲で行います。

高齢夫婦世帯のご主人がベッドから落ちて動けなくなり、サポーターにSOSが入った時は、数名で対応。

最近ではそのようなサポーターの姿を見てきた若い世代も、地域の助け合い活動に加わってきました。以前の台風の時、倒木の修復や片付けは、若い世代や子どもたちも一緒に、共同作業を行いました。

その3【専門職との連携】



『お互いさま光明寺団地』
(サポーター14名)

お互いさまサポーター集会では、日頃の声かけや見守り活動による地域情報や支援が必要な人の状況について、共有しています。サポーターだけでは対応しきれない課題については、集会に参加している社協や地域包括支援センター、民生委員・児童委員に繋いでいます。

例えば、ある認知症の方については、地域包括支援センターも把握、対応しているため、何かあった時にはすぐに相談したり支援を求めたりすることができます。お互いさま活動には専門職との連携が不可欠です。

(※「逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画(2023年度~2030年度)」より一部抜粋)

○こんなお困りごとにも対応しています



電球交換。高い場所の荷物の移動。

○(自分の)不安なこと、(周りの)気になる
様子がありましたら、ご相談ください



近くに頼れる人がいない。最近、腰が痛く家事や買い物が大変。



独り暮らしの隣の人を最近見かけなくなったけど、大丈夫かな。

仕組みづくりをすすめている地区

池子区会地区：お互いさま池子
東逗子団地地区：チーム「まごの手」
 お互いさま東逗子第二
アザリエ第一自治会地区：アザリエ第一・お互いさま
アザリエ第二自治会地区：アザリエ第二自治会内サポーター
沼間3丁目地区：お互いさま沼間三
アーデンヒル地区：お互いさまアーデンヒル
沼間6丁目地区：お互いさま・あずま
グリーンヒル自治会地域：お互いさまグリーンヒル
桜山向原地区：お互いさま桜山向原
桜山4丁目地区：サロン桜山
桜山台山地区：サロン桜山5丁目
桜山番合谷戸地区：お互いさま番合谷戸
東部地区全体：東逗子オレンジカフェ
逗子3・4丁目地区：お互いさま逗子3・4
逗子6丁目地区：逗子6丁目サロン
逗子地区全体：多世代交流サロン「つなぐ」
下桜山交友会地区：下桜山しおかぜ体操
新宿地区：新宿ついでついで活動
山の根自治会地区：お互いさま山の根
山の根親交会地区：お互いさま松本谷戸
久木連合町内会地区：お互いさま久木 / 通いの場すみれ
逗子ハイランド地区：お互いさまいきいきハイランド
小坪区会地区：お互いさま小坪
光明寺団地自治会地区：お互いさま光明寺団地
逗子南ヶ丘自治会地区：お互いさま逗子南ヶ丘
(計27地区)



「地域安心生活サポート事業」
は、逗子市社協職員5名が担当
し、事業を推進しています。

令和5年6月現在の 登録者数

お互いさまサポーター	510名
利用登録者	198名

*見守りが必要な方の登録（利用登録者）は、実施している地区と、実施していない地区があります。

逗子市にはたくさんの自治会・町内会がありますが、規模も活動内容も様々です。また、自治会・町内会がない地域もあります。そして、ご近所による見守りが自然にできている地域もあります。この事業では、様々な地域特性に応じて、無理のない「現代版の向こう三軒両隣」の地域をめざしていきます。今後も、多くの方々のご理解とご協力をお願いいたします。

お問合せ・連絡先

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会 TEL 046-873-8011

メール info@zushi-shakyo.com ●メールアドレス用QRコード→



ご意見・ご質問がありましたらお気軽にご連絡ください

逗子市社会福祉協議会では、地域の皆さまにご参加・ご協力いただきながら、多様化・複雑化する福祉の需要にこたえていくために、法律では行き届かない、きめ細やかな福祉サービスを展開しています。